

Luncheon Seminar

On-site

Sun. May 18, 2025 12:40 PM - 1:20 PM JST | Sun. May 18, 2025 3:40 AM - 4:20 AM UTC Room 4
(Dejima Messe Nagasaki 1F 101 (C))

Luncheon Seminar 9

Clarify the clinical efficacy of FINESIA Relios®

Chair: Yasunori Ayukawa (Kyushu University)

Support Company : KYOCERA Corporation

[LS9] Clarify the clinical efficacy of FINESIA Relios®.

*Takashi Sawase¹ (1. Department of Applied Prosthodontics, Institute of Biomedical Sciences, Nagasaki University)

Keywords : FINESIA Relios®、骨配向性、ISQ値

FINESIA®インプラントは、インプラント周囲の骨質に着目し、多くの動物実験での検証から、のこ刃ネジ形状インプラントスレッドが、インプラント埋入早期から耐荷重性に優れた骨配向性を促すことが期待され2017年に上市された。さらに2023年には、冷間強加工された純チタンにサンドブラスト酸エッティング処理を行うことで、機械的強度を担保しつつ高い骨接触をしめすFINESIA Relios®が上市された。FINESIA®インプラントが臨床応用されて約10年が経過し多くの臨床例が積み重ねられた中で、本ランチョンセミナーでは、「はたして動物実験の結果は、臨床に反映されているのか?」について、FINESIA®インプラントの開発当初からのコアメンバーの臨床例を供覧するとともに、辺縁骨レベルならびにISQ値の推移から、FINESIA Relios®の臨床効果の一端を明らかにしたいと思う。